

平成 30 年度 第 6 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 30 年 9 月 19 日 午前 9 時 30 分から

場所 宍粟市役所 庁議室

第6回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成30年9月19日（水） 午前9時30分～午前10時15分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 庁議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

教育委員	西岡章寿	教育長	片山繁樹	委員
	中山由香里	委員	前田純恵	委員
	金本一二	委員		

事務局

前田正人	教育部長	山本信介	教育部次長
田路正幸	教育部次長	進藤美穂	教育総務課長
世良繁信	学校教育課長	中尾善弘	こども未来課長
西林文隆	施設整備課長	原 真弓	社会教育文化財課長
池本雅彦	学校給食センター所長	小河秀義	市民協働課長
福元佳代	教育総務課副課長		

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

金本委員

6 前回会議録の承認

平成30年度第5回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件
前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、進藤教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の4点について西岡教育長が報告した。

(1) 幼保一元化推進状況について

戸原地区幼保一元化については、8月18日に戸原地区で保護者説明会を開催した。また、一宮北地区においては、幼児教育・保育部会を8月27日、9月11日に開催し、認定こども園の児童の体操服や持ち物について協議していただいた。なお、第7回幼保一元化協議会は10月3日開催予定である。

(2) 全国学力・学習状況調査結果について

7月31日(火)に文部科学省より「全国学力・学習状況調査」の結果が公表され、それを受け本市では10月1日に「しそく学力向上検討委員会」を開催し、今後、成果と課題を検証し学力向上に取り組んでいく予定としている。

(3) 小学校校務用パソコンの購入について

教職員が校務で使用するパソコンのバージョンアップをする必要があることから、購入について入札をした結果、契約金額23,079,600円で株式会社スマートミッションと、9月議会の承認を得て購入契約を締結した。詳細については、後ほど施設整備課長より説明させていただく。

(4) スクイム市への派遣及びスクイム市からの訪日団受け入れについて

スクイム市派遣団については、団長を千種中学校、早柏校長とし、教育委員会の中田副課長とエリザベス先生の3名が引率する。生徒は10名で明日9月20日(木)に市役所を出発し、スクイム市とサンフランシスコに6日間滞在した後、28日に帰着する予定である。また、スクイム市からの訪日団については、10月12日(金)から15日(月)まで宍粟市にやって来る。ホストファミリーの家で過ごしていただき、16日に宍粟市を出発する予定となっている。後ほど、学校教育課長より詳細を説明させていただく。

8 議事

第11号議案 宍粟市立小・中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

総務省において、公務災害補償制度のより適正な運用を図るため、「議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例施行規則(案)」が改正されたことに伴い、市内小・中学校の学校医等の公務災害補償等に係る規則について改正をすることを進藤教育総務課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」と決定された。

9 協議報告事項

(1) 幼保一元化推進状況について

資料1「幼保一元化推進の状況」により、中尾こども未来課長が報告した。

(2) 平成30年度第1学期「いじめ事案」について

資料2「宍粟市内小中学校で認知したいじめ事案について(平成30年度第1学期)」により、世良学校教育課長が報告した。

(3) 平成30年度全国学力・学習状況調査結果公表等について

資料3「平成30年度全国学力・学習状況調査結果公表等のスケジュール」により、世良学校教育課長が報告した。

(4) 平成30年度スクイム市派遣団、訪問団受け入れの日程について

資料4「平成30年度スクイム市派遣団行程表」により、世良学校教育課長が報告した。

(5) 平成30年度数学・理科甲子園ジュニア2018の結果について

資料5「数学・理科甲子園ジュニア2018参加チーム一覧表」により、世良学校教育課長が報告した。

(6) 校務用パソコンの購入について

資料6「校務用パソコン購入概要」により、西林施設整備課長が報告した。

(7) 学校給食における異物混入対応状況及び対策について

資料7「学校給食センター異物混入状況及び対策（職員研修）について」により、池本学校給食センター所長が報告した。

(8) 宍粟市ロードレース大会参加者募集について

資料8「第14回宍粟市ロードレース大会開催要項」により、小河市民協働課長が報告した。

(9) 西播磨オータムスポーツフェスタについて

資料9「西播磨オータムスポーツフェスタ」により、小河市民協働課長が報告した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

いじめ事案について、資料の表題は「宍粟市内小中学校で認知したいじめ事案について」となっている。資料の上段枠内は「いじめ事案発生件数」となっているので、そこも「認知件数」としたほうが良いのではないかと思う。

(学校教育課長)

ご指摘のとおり、文言の修正をしたいと思います。

(金本委員)

いじめ事案に対して、先生方はどれくらいの時間を費やされているのか、教えてほしい。

(学校教育課長)

最低でも月に1度はいじめ校内委員会を開催し、いじめの現状、対策について話し合う時間をとっている。それ以外に授業中の観察や放課後に下駄箱の状況等についても、日常的に観察している。トータルの時間について実際に統計はとっていないが、熱心に取り組んでいただいている。

(金本委員)

先生の勤務時間が長くて大変である。特に保護者対応で、時間を費やすのは大変であると思う。

(片山委員)

先生方は、アンケートやチェックリスト、人権研修等、色々とされていると思うので、いじめの予兆、発見の意識を高めておられると思うが、それをすればするほど先生方は多忙な職務になる。子どもと向き合う時間の確保、関わり方の質の向上については、今取り組んでいる働き方改革を進めていくことが、子どものいじめを減らすことにもつながるのではないかと思う。教員一人ひとりの力には限界がある。学校全体で取り組んでもいじめを無くすことは難しい。子ども、家庭、地域、行政の全てが協働することが一番大事であると思う。協働によって子どもの安全、安心を守っていただきたいと思う。

(学校教育課長)

アンケートで認知した件数が今回最も多く 35 件であるが、例えば、2. 教師が子どもの様子から気づき対応するとか、3. 児童生徒から自分がいじめられているのではなく、友達がいじめられている場面を見て知らせてくれる子どもを増やすとか、保護者や地域の方と連携して認知を進めるとか普段の取り組み、或いは教師の力によらない取り組みによるいじめ認知も進めていきたいと考えているので、今後ともご協力ご理解をお願いしたいと思う。

(前田委員)

子ども自身がいじめについて学ぶ機会はあるのか、教えてほしい。

(学校教育課長)

子ども達に話したほうが良い事案については、全校集会や学年集会で、その事を直接話すのではなく、関係する説話をすることで、子ども達の気づきを促したり、或いは、道徳の授業の中でいじめに関する教材を扱うとか、学級活動の中で仲間はずれや偏見といったテーマで話し合い学習活動をしたり、常にそういった事をするように努めている。

(金本委員)

スクールバス内でのいじめ事案が2件あるが、スクールバスの運転手の方に、いじめが起こった時の対応のアドバイスやマニュアル的なことも考えたらいいのではないかと思う。

(学校教育課)

スクールバスの運転手の方については、いじめ事案の対応マニュアルをお示しできたらと思うので、今後、検討し前向きに実施していきたいと思います。

(中山委員)

学校給食について、臨時休業の場合、食材はどうされているのか教えてほしい。

(学校給食センター所長)

次の日に回せる食材は、献立内容を変更し対応している。食材によっては、業者に連絡することで止めることのできる食材もあるが、それができない分については、ほとんどが次の日、或いはその週で対応し消費している。

10 次回会議の招集について

平成30年10月18日(木)午前9時30分から、平成30年度第7回宍粟市教育委員会を開催しました。

11 閉会

金本委員が閉会した。

以上 午前 10 時 15 分終了